

次期市川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）における目標・指標（案）

次期計画							現行計画		
基本目標（3目標）	(13項目) 取組項目（22項目）	次期計画における取組み	策定時は「令和元年度」に更新 取組項目の指標 注1	単位	平成30年度 (直近年度)	令和12年度 (目標年度)	平成25年度 (基準年度)	令和2年度 (目標値・指標値)	
基本目標1 低炭素なエネルギー対策の推進	I-① 公共施設の省エネルギー対策の推進	省エネ診断等を用いた効果的な省エネ対策の推進、エネルギーの地産地消（廃棄物発電電力の公共施設への供給）地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進、市役所新庁舎の省エネルギー対策、道路照明灯のLED化の推進	■公共施設のエネルギー消費原単位	GJ/m	0.66	0.59	0.65	0.61	
	I-② 事業者等の省エネルギー対策の推進	商店街灯、防犯灯のLED化の促進、事業活動における環境配慮の促進、中小企業融資資金	■商店街灯及び防犯灯におけるLED型照明の数（累計）	基	12,776	26,400	2,557	14,000	
	I-③ 住宅への省エネルギー対策の推進 I-④ 環境配慮型住宅の推進 I-⑤ 再生可能エネルギーの利用の推進	省エネルギー設備等の補助制度、住宅の省エネルギー改修の促進 低炭素建築物認定制度、緑のカーテン、生垣助成、屋上等緑化・駐車場緑化助成、雨水・遊水対策補助制度 住宅における再生可能エネルギーの利用	■省エネルギー設備設置助成件数（累計） ■低炭素建築物認定件数（累計） ■住宅用太陽光発電システム(10kW未満)の設置設備容量（累計）	件 件 kW	873 87 16,336	2,300 210 28,000	156 15 10,453	1,000 100 22,000	
基本目標2 低炭素なまちづくりの推進	II-① 廃棄物の発生抑制・排出抑制の促進	生ごみの減量、リユースの促進、事業系ごみの減量、プラスチックごみの削減	■1人1日当たりのごみ・資源物の排出量	g	763	760 (令和6年度)	846	760	
	II-② 資源の循環的利用と熱回収等の推進	分別の徹底に向けた広報・啓発の強化、事業系ごみの再資源化、熱回収と余熱利用の推進	■資源化率（ごみの総排出量に対する資源化量の割合）	%	17.1	27.0 (令和6年度)	20.1	27.0	
	III-① 自動車交通流の円滑化 III-② 環境に配慮した自動車の使用促進 III-① 自動車使用における環境配慮の推進	次世代自動車の普及促進、エコドライブの啓発、カーシェアリングの普及啓発、都市計画道路の整備、交差点の改良、まごころ道路整備事業	□都市計画道路の整備率 ■市域における電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車の普及台数（推計値）注2 ■エコドライブに取り組む市民の割合	% 台 %	— 236 (平成29年度) —	— ↑ —	43 —	61 —	
	III-② 公共交通機関・自転車の利用促進 III-④ 自転車・歩道の利用環境の整備	鉄道駅舎のバリアフリー化推進、マイカーから公共交通機関への利用転換、サイクル&バスライドの検討、自転車走行空間の整備、レンタサイクル事業の推進、電線地中化等の人によるやさしい道作り	■コミュニティバスの利用者数 □自転車走行空間の整備延長・路線数	人 km 路線	— 47.9 18	— 72.6 27	535,000 42.9 13	→ 72.6 27	
	IV-① 緑地の保全の推進	民有緑地の保全（市川みどり会）、都市緑地の公有地化、特別緑地保全地区の指定、緑地の保全活動の支援	■緑のボランティア団体による緑地保全活動延べ面積 ■緑の保全活動を行う市民団体の数	ha 団体	— 310	— ↑	—	—	
	IV-② 都市緑化の推進	公共空間の緑化、美しいまち並み協定の支援、緑のカーテンの普及、生垣設置、工場緑化制度、宅地開発に伴う事前緑化協議	■生垣設置助成件数（累計）	件	406	↑	386	↑	
基本目標3 低炭素なエネルギー対策とまちづくりを推進する人づくり	V-① 市民・事業者・大学との協働の推進 V-② 市内大学との官学協働の推進	環境フェア開催、Ecoドライブ講習会、審議会の委員推薦、公開講座	■環境関連イベント（いちかわ環境フェア等）の動員数 □協定締結学校数 □包括協定に基づく環境分野の事業数（協定締結学校数）	人 校 事業	15,000 — 5	→ — ↑	12,000 2 3	13,000 ↑ ↑	
	V-② 市民との協働の推進	環境活動推進員、じゅんかんパートナー、ガーデニングボランティア	□環境活動推進員（エコライフ推進員）の延べ人数	人	239	420	165	270	
	VI-① 学校等での環境学習の推進・市民向け環境講座の実施 VI-② 市民向け環境講座イベント等の実施 VI-③ 環境情報の提供	総合学習での授業支援等、市民向け環境講座の実施、こども環境クラブの運営、環境イベント（環境フェア、クールアースいちかわ）の実施、環境保全協定締結事業者への情報提供、SDGsを意識した環境学習の実施	□学校における環境学習の開催数 □市民向け環境講座の開催数 ■市Webページ（環境政策に関する頁）のアクセス数	回 回 回	90 4 —	↑ ↑ —	107 6 58,454	120 8 67,000	
	VI-④ 地域ポイント制度との連携 VI-⑤ 地産地消の推進 VI-② エコライフの普及と促進	Ecoポイント制度、農産物等普及協議会、魚食文化フォーラム実行委員会、学校給食への地場産物利用、体験農園・市民農園 環境家計簿	□Ecoポイントが付与される環境分野の事業数 ■地産地消を心掛ける市民の割合 ■エコライフの実践率（「いつも取り組む」市民の割合）	事業 % %	— 14 60	— 40 70	4 26 50	→ 40 65	
	1. 健康分野	○ 熱中症についての基礎知識、対処法、予防対策等の情報提供 ○ 緑地の保全・創出、都市緑化対策の推進（熱ストレスの軽減） ○ 遮熱性舗装・保水性舗装の取り組みの検討							
	2. 災害分野	○ 雨量情報の収集及び河川水系の観測 ○ 洪水ハザードマップの配布 ○ 局地的な大雨や河川の氾濫情報の警報、水位等のリアルタイムでの情報提供の強化 ○ 治水対策としての河川の整備 ○ 内水対策としての下水道の整備 ○ 防災訓練・防災啓発の実施 ○ 自主防災組織の結成の促進 ○ 災害時支援協定の推進							
3. 農業分野	○ 梨などの農産物への水不足・高温による農業被害の防止策の調査の支援								
4. 自然生態系分野	○ 生物多様性いちかわ戦略の推進 ○ 市内生態系のモニタリング調査								

注1) ■は効果指標（対策や施策の結果、得られる効果）、□は事業量指標（施策や対策の実施量） 注2) 「クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金」の交付実績を基に算出した推計値（一般社団法人次世代自動車振興センターより提供）